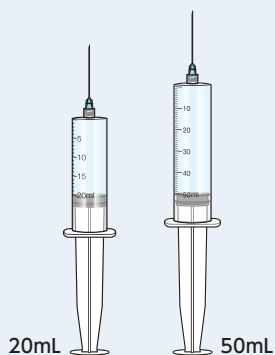


## アネレム® の調製方法

アネレム® 20mg製剤・50mg製剤のいずれも、最終濃度を1mg/mLで調製する。

1

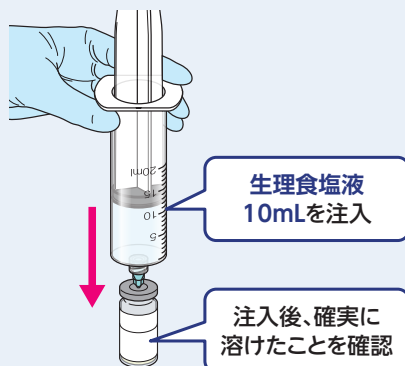
本剤1バイアルに対して、注射筒に生理食塩液を10mL抜き取る。  
(プレフィルドシリンジ製剤の使用も可)



※コアリング防止のため、注射針は20-21ゲージを推奨しています。

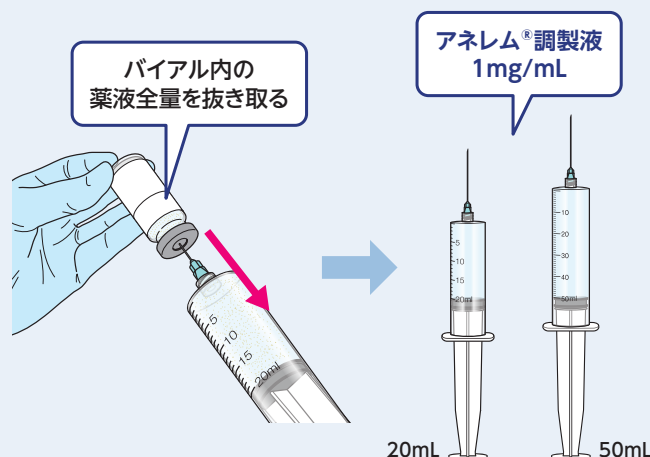
2

抜き取った生理食塩液10mLをバイアルに加えて溶解する。  
内容物が完全に溶解するまでバイアルを静かに振り混ぜる。



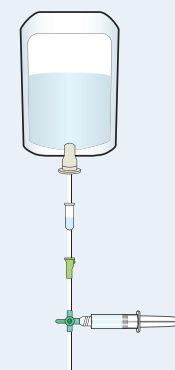
3

バイアルから全量を抜き取った後、生理食塩液を用いて全量を20mLとする。  
(50mg製剤の場合は全量を50mLとする)



4

三方活栓などを用いて側管より緩徐に静脈内投与する。



※溶解後は、24時間以内に使用してください。

## アネレム® 調製時に関連する注意事項

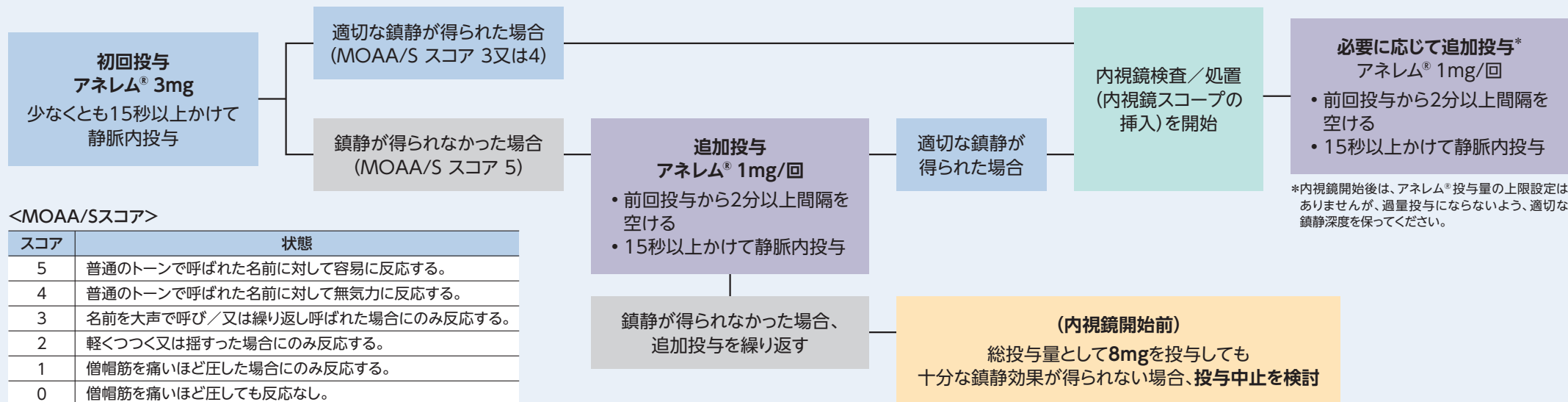
### 適用上の注意 (抜粋)

#### 14. 適用上の注意

##### 14.1 薬剤調製時の注意

- 14.1.1 本剤の溶解液には通常、生理食塩液を使用すること。本剤は乳酸リンゲル液に完全には溶解せず沈殿するため、乳酸リンゲル液は本剤の溶解液に使用できない。
- 14.1.2 溶解後は24時間以内に使用すること。
- 14.1.3 pH4以上の場合に本剤の溶解度が低くなるため、アルカリ性注射液での溶解は避けること。
- 14.1.4 バイアルに生理食塩液10mLを注入し、確実に溶けたことを確認する。バイアルから薬液全量を抜きとり、生理食塩液と均一に混和し、全量を20mL (20mg製剤) 又は50mL (50mg製剤) とする (1mg/mL溶液)。

## ■ アネレム® の投与方法(イメージ図)



DA Chernik, et al. J Clin Psychopharmacol. 1990; 10 (4): 244-251より作成

### 用法及び用量 (抜粋)

#### ＜消化器内視鏡診療時の鎮静＞

通常、成人には、レミゾラムとして3mgを、15秒以上かけて静脈内投与する。効果が不十分な場合は、少なくとも2分以上の間隔を空けて、1mgずつ15秒以上かけて静脈内投与する。なお、患者の年齢、体重等を考慮し、適切な鎮静深度が得られるよう、投与量を適宜減量する。

### 用法及び用量に 関連する注意(抜粋)

#### ＜消化器内視鏡診療時の鎮静＞

- 7.4 本剤に対する反応は個人差があるため、患者の年齢、感受性、全身状態、併用薬等を考慮して、適切な鎮静深度が得られるよう、投与量を調節すること。高齢者及び低体重者の場合、患者の全身状態等を踏まえ初回投与量及び追加投与量をそれぞれ半量とすることを考慮すること。[電子添文9.8、17.1.2、17.1.3参照]
- 7.5 消化器内視鏡開始前に本剤を総投与量として8mgを投与しても十分な鎮静効果が得られない場合は、本剤投与の中止を検討すること。

## アネレム® 適正使用e-Learning

こちらのe-Learningでは、適正使用ガイドの内容に基づいた情報を掲載しています。  
アネレム®のご使用前に受講ください。

<https://www.mundipharma.com/ja-jp/medicines/anerem/e-learning>

